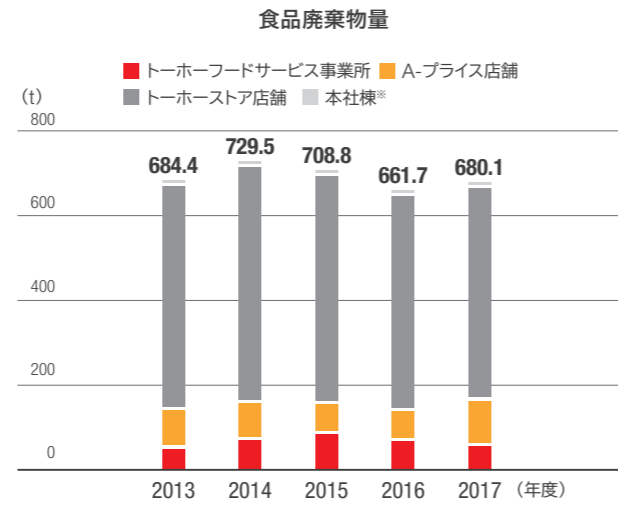


環境への配慮 持続可能な社会を目指して



食品廃棄物削減への取り組み

(株)トーホーフードサービスでは、在庫管理支援システムを活用し、賞味期限別の在庫を見える化させるとともに、倉庫内の保管場所を工夫するなど、期限管理を徹底し、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。2017年度からは「業務推進会議」を定期的開催し、この取り組みをグループ各社に水平展開しています。一方、品質に問題はないものの当社独自の出荷基準日を越えたため販売できない商品が出た場合は、一部をフードバンク活動実施団体や子どもたちを家庭から一時的に避難させ、受け入れる児童福祉施設「子どもシェルター」に寄贈しています。

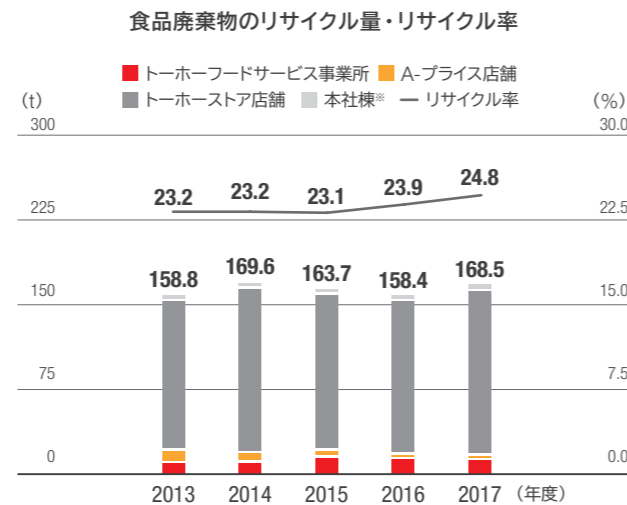


食品リサイクルの促進

(株)トーホーストアの一部の店舗では、野菜くずを液体堆肥やエコフィード循環システムという食品廃棄物を家畜の飼料にするリサイクルに取り組んでいます。

兵庫楽農生活センター内の楽農レストラン「育みの里 かんでかでか」は、2012年2月より神戸市から「ワケトンエコレストラン」として認定され、レストランから出た食品廃棄物をセンター内の施設で堆肥化し、ほ場で使用しています。

2017年度の同レストランでの食品廃棄物リサイクル量は、1.5トンとなっています。



その他廃棄物削減への取り組み

トーホーグループでは、一般廃棄物の削減についても積極的に取り組んでいます。

- 1 ペーパーレスの推進** ソフトウェアや会議システムの導入等によりオフィスのあらゆる書類のペーパーレス化を推進しています。
- 2 動物園へ寄付** 自社農場で生産した葉物野菜の外側の葉などを動物園に寄付し、有効活用しています。
- 3 プルタブ・ペットボトルキャップの回収** 回収したものを換金し、車いすやワクチンを寄付しています。



神戸どうぶつ王国 (神戸市中央区)

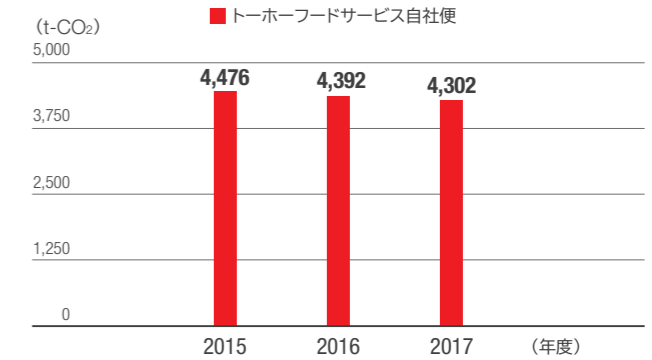
CO₂削減への取り組み

CO₂削減と業務効率化を両輪で実現

トーホーグループでは、グループ横断的な委員会組織として「交通安全推進委員会」を設置しています。当委員会では、交通安全の推進や車両の適正な管理を徹底するとともに、商品配送時のCO₂排出量削減に向け、急発進、急加速をしないなどの省エネ運転や自動車事故“ゼロ”を目指して「エコ安全ドライブ」を徹底しています。また、老朽化した車両の入れ替えを定期的に進め、燃費改善を行っています。さらに、2017年度は、特定の配送エリアをチームで配送する「チームワーク配送」を行うとともに、適時配送ルートを見直すなど効率的な配送を徹底しています。

※ 本社様とは、(株)トーホー、(株)トーホーフードサービス、(株)トーホーキャッシュアンドキャリアー、(株)トーホーストア、(株)トーホービジネスサービス、(株)トーホー・コンストラクション、(株)アスピット、(株)トーホーウイングの当社に属する部署を示します。

車両からのCO₂排出量

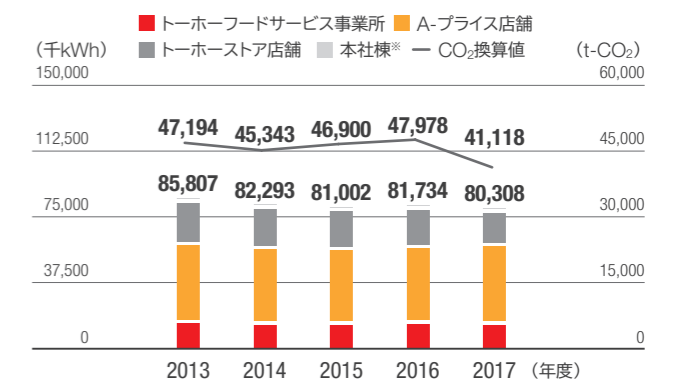


電力使用量を抑える

(株)トーホーフードサービスでは、2013年度から冷凍・冷蔵庫の温度管理を自動で制御する「省エネ型低温流通管理システム」を導入しています。2017年度は4事業所に導入し、合計25事業所への導入となりました。

また、(株)トーホーキャッシュアンドキャリアーのA-プライス店舗および(株)トーホーストアの店舗では、新規出店や改装の際に省エネ型の冷凍・冷蔵ショーケースへの入れ替えを推進しているほか、(株)トーホー・北関東では、2017年11月に本社・宇都宮支店の屋上にグループで3カ所目となる太陽光発電設備を設置しました。

電力使用量



環境にやさしい輸送手段に

トーホーグループでは、在庫コントロールのため物流センター間で商品の移動を行っています。輸送手段はトラック輸送が主体でしたが、物流の効率化、環境負荷の少ない輸送手段などを検討し、2017年度からは一部の便で鉄道を利用したモーダルシフト*の取り組みを開始しました。さらに工場から出荷されたコーヒーを物流センターへ納品する際にもモーダルシフトを活用しています。

2017年度は、前年度比380トンのCO₂削減効果がありました。

※ モーダルシフトとは、トラックによる幹線貨物輸送を地球に優しく、大量輸送が可能な海運または鉄道に転換する国土交通省の政策です。

トーホーのモーダルシフトの例

